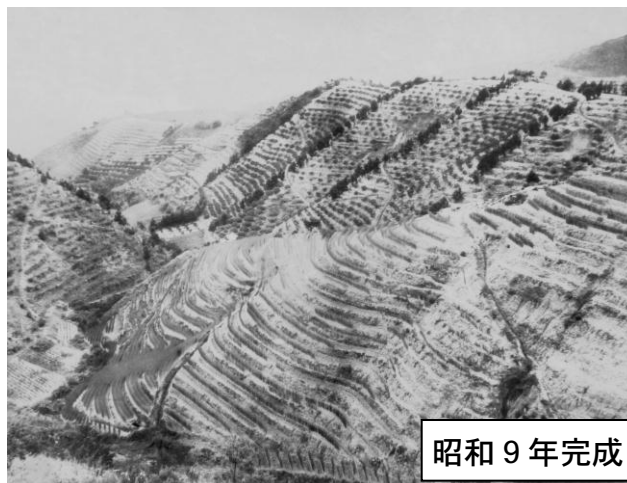




復旧状況



昭和9年完成



平成25年現在



（川に堆積した土砂を鍬で揺すり、水の勢いで土砂を流す作業）



護山治水の碑

○所在場所

愛媛県今治市大三島町宮浦ほか

○施設・工法の概要

地盤保護工事 214ha

積苗工、萱筋工、石積工、石垣堤工等

○解説

愛媛県大三島の山林は、藩政時代からの乱伐により禿山化が進み、明治38年10月の豪雨により天井川は決壊し、またたく間に人家・田畑が流出埋没しました。この大災害を契機に官民が一体となり、明治40年に荒廢地を土砂かん止保安林に編入するとともに林地の使用収益の制限を行いました。その後、第一期森林治水事業により、大正2年から昭和9年にかけて延人員8万人を動員し、地盤保護工事約214haを実施し、緑あふれる山林を再び取り戻すことができました。

昭和12年、功労者の威徳を称えるとともに、後世に再びこのような大惨事を招かないよう戒めるため、護山治水の碑が建てられました。